

進取開拓



教育目標
自ら学ぶ生徒
自ら活動する生徒
自ら鍛える生徒

第12号 令和5年3月24日（金）伊達市立伊達中学校

卒業式・予餞会・お礼

伊達中学校長 高橋 秀 壽

○3月10日金曜日令和4年度第74回卒業証書授与式を終えました。保護者の皆様は2名迄の出席とし、職員と生徒はマスクをしないことを基本としました。送辞と答辞は立派でした。卒業証書を生徒の表情を見て渡しているとぐっとこみ上げるものがありました。良い卒業式だったと思います。

卒業式での式辞をご紹介します。

式 辞

「卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、本日はまことにおめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、この3年間で見違えるように成長したお子様の立派な姿を目の当たりにして、お喜びの気持ちでいっぱいのことと思います。心から祝福申し上げます。また卒業生の皆さんは、本校における3年間、全ての場面で大変立派な学校生活を送ったことに対し、大きな喜びと誇りを抱えていることでしょう。新しい道を歩み始める卒業生の皆さんへのはなむけとして「これからの社会を生きる人として大切なこと」について話をしたいと思います。

令和4年4月の学校だよりで、紀友則の春の句をご紹介します。「ひさかたの 光のどけき 春の日に 静心(しづこころ)なく 花の散るらむ」(こんなに陽の光がのどかに降り注いでいる春の日なのに、どうして桜の花は落ち着いた心もなく散ってしまうのだろう。)桜の花びらが散る様子に生命には限りがあること、だからこそ愛(いと)おいしいのだという意味です。昔から日本人は、命は尊いものと考えてきました。命のありがたさを思い、命を大切に思う気持ちをこれからの人生でも大切にしてください。

次に、「真の智」と「感謝報恩」です。「真の智」は、生きていく知恵のことです。その知恵は自分の身の回りのことに、「何故だろう」や「もっと深く知りたい」という探求する心を持つことで育ちます。「感謝報恩」は、家族、先生、友人、地域の方に対し、感謝の心を持ちその人々に対し受けた恩に報いる行動をしますという意味です。感謝報恩の思いをもつことにより、喜びや活力が自分自身の中から湧き出てきます。この二つの言葉を覚えてください。

皆さんが生きていくこれからの社会は、情報活用

時代です。多くの情報が世の中に溢れています。その中から正しい情報、必要な情報を見極める目が求められます。その目とは何でしょうか。それは、本質を知る目のことです。表面だけにとらわれてばかりいると良かった、悪かったで片づけてしまいます。そうではなく、事象がもつ本当の意味を知ることです。FIFA WORLD CUPの解説が話題になった本田圭佑氏の言葉に、「相手のボールを奪うプレーを見て、上手いな下手だなと判断しないで欲しいんです。その中には選手個人の技術と思考、他の選手の動きと位置関係を考えた動きが凝縮されているんです」がありました。これこそが本質を見抜くということなのだと思えました。物事に対し、何かしら意味はないのだろうか、という視点をもつことで、自分自身の考えを深めることができ、ぶれない考えをもつことになると思います。自分自身を育てるには、日々をどういう気持ちで過ごしていけばよいかを考え、大きく成長して欲しいと願っています。日本の未来を担う皆さん、自分を磨き、他人のせいにするのではなく、人のために役立つ大人になってください。

以上、卒業生の皆さんの限りない発展と今後の活躍をお祈りして、式辞といたします。」

卒業生の皆さん、目標を設定し、見通しと情報を収集、分析し、自分の考えを構築しアウトプットする人生を歩んで欲しいと願っています。

予餞会は、1年生、2年生と1、2年の教員団からの動画を観ました。卒業生に向けた感謝の思い、喜んでもらいたいというメッセージを感じる内容でした。卒業生は楽しんでいました。

24日金曜日で令和4年度の教育活動が全て終了しました。生徒は学校行事やクラス行事を通して、確かに成長しています。言い換えますと、できることが増えたと感じます。自己評価を行い、この春休みの間に学年が上がることの意義を考えて4月の始業式を迎えて欲しいと思います。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、令和4年度の伊達中学校の教育にご理解、ご協力とご支援をいただき衷心より感謝申し上げます。次年度の伊達中学校の教育を宜しく願います。

ご挨拶 ～退職・転出する職員より～

教諭 山谷 茂 退職

この度、定年を迎え、退職する運びとなりました。例えば、平成6年に北海道で採用になってから29年間、伊達中学校では6年間、生徒やそのご家族、教職員など、周りの方々に助けていただくことばかりでした。しかし、そのおかげで、今日この日を無事迎えることができました。本当にありがとうございました。今後も隣の町に居を構えたまま、この地域で仕事や生活をしていくつもりですので、どこかでお会いしましたら、気軽に声がけくださいますよう、よろしく願います。

教諭 田畑 明洋 白老町立白老中学校へ転出

3年間お世話になりました。短い期間でしたが、たくさん子どもたちや保護者、地域の皆様に支えられ、充実した日々を過ごすことができました。今年度の卒業生と同じくこの学校を離れることとなり、4月より白老中学校に勤めることとなりました。伊達中で学んだ経験を生かし頑張ります。3年間ありがとうございました。

教諭 菊地 俊克 登別市立幌別中学校へ転出

あっという間の6年間でした。半分は新型コロナの影響があり、2か月の臨時休校や大会、コンクールの中止が相次ぎ、辛い思いもしましたが、その中でも逞しく元気に活動する生徒たちに何度も勇気づけられました。素直な生徒と出会い、心強い保護者の皆さんに支えられ、温かい地域の皆さんのご協力をいただいた6年間は本当に幸せでした。ありがとうございました。

教諭 斉藤 康太 苫小牧市立光洋中学校へ転出

生徒の皆さん、保護者の皆様、大変お世話になりました。礼儀正しく元気な伊達中生に支えられた4年間でした。新3年生、ラストイヤーを楽しんで！新2年生、先輩として頑張る！ソフトボール部、全道で2勝以上！また会える日を楽しみにしています。

事務職員 渡部 久美子 退職

1年という短い期間でしたが、楽しく、また、有意義な時間と体験をさせていただきました。皆様には本当にお世話になり、ありがとうございました。

介護員 後藤 千寿子 伊達小学校へ転出

3年間、大変お世話になり、ありがとうございました。色々な子に関わらせて頂き、更に成長する事ができた3年間でした。すぐ近くの伊達小にいますので、どこかでお会いした時は気軽に声を掛けて下さいね！また会う日まで。お元気で！

教諭 無量林 透子 室蘭市立東明中学校へ転出

伊達市立達南中学校との統合という特殊な形で赴任してから、早6年が経ちました。その間、多くの経験をさせていただき、充実した日々を送ることができました。私にとって大変貴重な時間であったと感じています。この経験を新たな職場でも生かしていきたいと思えます。6年間ありがとうございました。

教諭 福嶋 厚子 白老町立白老中学校へ転出

伊達中には11年お世話になりました。2回目の着任までに15年という歳月が流れていましたので、伊達を離れていた間に多くの命が生まれ育まれてきたこと、また、その多くの命の中に1回目に勤めた時の生徒の子どもたちがいたことには、時の流れも感じましたが、大変感慨深いものがありました。その他には、以前と変わらない伊達中の校舎とそこから見える景色に、懐かしさやホッとするような安心感も感じました。この3年間はコロナ禍ということで、制限のある中で学校生活を過ごしましたが、伊達中の良さである素直さ、一生懸命さ、やさしさなどを、今回も多くの場面で見る事ができました。また、地域が子どもたちを育てているという伊達の良さも改めて感じました。思い返せば、今回も生徒・保護者・卒業生に支えられて過ごした7年間でした。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

教諭 川 渕 靖雄 洞爺湖町立虻田中学校へ転出

6年間お世話になりました。8年前に、ここが日本で最高の場所だと確信して永住を決意、家建てましたが、この6年間で伊達の子もたち、そして大人たちの素晴らしさを知り、自分の決断が間違っていなかったという思いを改めて強くしました。ありがとうございました。また地域の住民として、これからもよろしく願います！

教諭 上参郷 貴樹 苫小牧市立植苗中学校へ転出

今から6年前にこの伊達市立伊達中学校に赴任してきました。同僚の先生方や保護者の皆様、そして生徒の皆さんに助けられながら、この6年を全うすることができました。この学校で働けたこと、保護者の皆様や生徒の皆さんと関わったことは私にとって何よりの『誇り』です。新しい地でも、この『誇り』を胸に、職務を全うさせていただきますと思います。6年間ありがとうございました。

お知らせです

学校での電話対応について、4月から勤務時間外で応答ができない時間帯を設けます。詳細は後日お知らせします。ご理解とご協力をお願いします。

〈4月行事予定〉

7日(金) 着任式、始業式、入学式
13日(木) 全学年学力テスト
16日(日) No部活Day
17日(月) 2年コミュニケーション・プログラム

18日(火) 3年全国学力・学習状況調査
1年コミュニケーション・プログラム
28日(金) 2年学級懇談※2年給食カット

○1年・2年教育相談 17日(月)～20日(木)

○1年保護者懇談会 25日(火)～28日(金)※この期間、1年給食カット

